

【資料 1】 ①

平成31年3月25日

認定者数の推計と実績値の比較

平成30年10月1日現在

(人)

全認定者数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援計	要介護計	認定者計
計画	2,923	2,035	2,959	1,754	1,514	1,572	1,152	4,958	8,951	13,909
実績	2,955	1,909	3,011	1,615	1,422	1,348	967	4,864	8,363	13,227
対計画比	101.1%	93.8%	101.8%	92.1%	93.9%	85.8%	83.9%	98.1%	93.4%	95.1%

【資料 1】 ②

平成31年3月25日

平成30年度 目標事業量の推計と実績値の比較

居宅の介護給付サービス(地域密着型サービスを除く)

サービス	単位	推計値	実績値	対推計比
訪問・通所系サービス				
訪問介護	回	38,181	41,185	107.9%
訪問入浴介護	回	588	548	93.2%
訪問看護	回	6,080	6,430	105.8%
訪問リハビリテーション	回	3,239	2,785	86.0%
居宅療養管理指導	人	1,388	1,189	85.7%
通所介護	回	34,167	34,940	102.3%
通所リハビリテーション	回	6,884	6,406	93.1%
訪問・通所系サービス				
短期入所生活介護	日	12,374	11,796	95.3%
短期入所療養介護	日	656	660	100.6%
その他のサービス				
福祉用具貸与	人	3,426	3188	93.1%
特定福祉用具販売	人	52	49	94.2%
住宅改修	人	50	47	94.0%
居宅介護支援	人	5,333	5058	94.8%

施設・居住系の介護給付サービス(地域密着型サービスを除く)

サービス	単位	計画値	実績値	対推計比
介護老人福祉施設	人	1,243	1194	96.1%
介護老人保健施設	人	780	756	96.9%
介護医療院	人	20	0	0.0%
介護療養型医療施設	人	26	26	100.0%
混合型特定施設入居者生活介護	人	186	110	59.1%

地域密着型の居宅の介護給付サービス

サービス	単位	計画値	実績値	対推計比
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人	21	13	61.9%
認知症対応型通所介護	回	1,200	1,043	86.9%
小規模多機能型居宅介護	人	55	39	70.9%
看護小規模多機能型居宅介護	人	65	37	56.9%
地域密着型通所介護	回	9,356	9,112	97.4%

地域密着型の施設・居住系の介護給付サービス

サービス	単位	計画値	実績値	対推計比
認知症対応型共同生活介護	人	197	201	102.0%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	人	219	183	83.6%

【資料 1】 ②

平成31年3月25日

居宅の予防給付サービス(地域密着型サービスを除く)

サービス	単位	計画値	実績値	対推計比
訪問・通所系サービス				
介護予防訪問入浴介護	回	12	9	75.0%
介護予防訪問看護	回	1,361	1,093	80.3%
介護予防訪問リハビリテーション	回	908	664	73.1%
介護予防居宅療養管理指導	人	139	125	89.9%
介護予防通所リハビリテーション	人	272	328	120.6%
短期入所サービス				
介護予防短期入所生活介護	日	406	396	97.5%
介護予防短期入所療養介護	日	37	15	40.5%
その他のサービス				
介護予防福祉用具貸与	人	1,532	1551	101.2%
特定介護予防福祉用具販売	人	31	36	116.1%
介護予防住宅改修	人	51	55	107.8%
介護予防支援	人	3,175	1938	61.0%

施設・居住系の予防給付サービス(地域密着型サービスを除く)

サービス	単位	計画値	実績値	対推計比
介護予防特定施設入居者生活介護	人	18	26	144.4%

地域密着型の居宅の介護給付サービス

サービス	単位	計画値	実績値	対推計比
介護予防認知症対応型通所介護	回	35	53	151.4%
介護予防小規模多機能型居宅介護	人	7	4	57.1%

地域密着型の施設・居住系の介護給付サービス

サービス	単位	計画値	実績値	対推計比
介護予防認知症対応型共同生活介護	人	8	2	25.0%

※実績値は8カ月分の実績の平均値です。

【資料 1】 ③

平成31年3月25日

平成30年度 介護給付費の推計と実績の比較

(円)

サービス	推計	実績見込	対推計比
(1) 居宅サービス(地域密着型を除く)			
訪問介護	1,248,629	1,321,847	105.9%
訪問入浴介護	84,864	80,270	94.6%
訪問看護	385,479	386,625	100.3%
訪問リハビリテーション	114,336	96,819	84.7%
居宅療養管理指導	135,249	123,246	91.1%
通所介護	3,020,746	3,010,382	99.7%
通所リハビリテーション	723,188	644,043	89.1%
短期入所生活介護	1,232,711	1,162,514	94.3%
短期入所療養介護	82,752	85,329	103.1%
福祉用具貸与	557,687	510,600	91.6%
特定福祉用具販売	15,516	14,844	95.7%
住宅改修	51,202	47,519	92.8%
特定施設入居者生活介護	423,496	251,720	59.4%
(2) 地域密着型サービス			
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	32,791	28,140	85.8%
夜間対応型訪問介護	0	0	0.0%
認知症対応型通所介護	155,793	135,021	86.7%
小規模多機能型居宅介護	109,905	80,889	73.6%
認知症対応型共同生活介護	583,300	592,394	101.6%
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0.0%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	664,718	581,250	87.4%
看護小規模多機能型居宅介護	139,991	82,320	58.8%
地域密着型通所介護	815,019	763,644	93.7%
(3) 介護保健施設サービス			
介護老人福祉施設	3,812,854	3,689,625	96.8%
介護老人保健施設	2,470,963	2,448,759	99.1%
介護医療院	86,337	0	0.0%
介護療養型医療施設	104,045	101,810	97.9%
(4) 居宅介護支援			
介護給付費計	17,944,641	17,099,285	95.3%

サービス	計画	実績見込	対推計比
(1) 介護予防サービス(地域密着型を除く)			
介護予防訪問入浴介護	1,076	866	80.4%
介護予防訪問看護	76,488	60,198	78.7%
介護予防訪問リハビリテーション	30,919	22,698	73.4%
介護予防居宅療養管理指導	12,678	10,739	84.7%
介護予防通所リハビリテーション	98,982	127,265	128.6%
介護予防短期入所生活介護	29,181	29,499	101.1%
介護予防短期入所療養介護	2,424	1,232	50.8%
介護予防福祉用具貸与	104,417	108,180	103.6%
特定介護予防福祉用具販売	9,076	10,017	110.4%
介護予防住宅改修	53,567	57,758	107.8%
介護予防特定施設入居者生活介護	13,732	23,427	170.6%
(2) 地域密着型サービス			
介護予防認知症対応型通所介護	2,820	4,409	156.3%
介護予防小規模多機能型居宅介護	4,823	3,041	63.0%
介護予防認知症対応型共同生活介護	21,811	4,640	21.3%
(3) 介護予防支援			
予防給付費計	176,736	107,156	60.6%
予防給付費計	638,730	571,121	89.4%

※実績見込は8カ月分の実績に12/8を乗じた数字です。

【資料 1】 ④

平成31年3月25日

・平成30年度 認定者数の推計値と実績の乖離要因

高齢者数は増加しているものの、特に中重度者において、見込みより認定者数の伸びが鈍化している。認定者数が計画より下回っているのは、昨年度から開始した総合事業のサービスが増加し、事業対象者への移行が進んだことが一因と考えられる。

・平成30年度 サービスの推計と実績の乖離要因(事業量又は給付費の実績が対推計比±20%を超えるもの)

サービス	対推計比 (事業量)	対推計比 (給付費)	要因
混合型特定施設入居者生活介護(予防含む)	66.7%	62.9%	新たに特定施設の指定を行っていないため、定員と同程度の利用を見込んだ。要支援者については、少数であるものの、計画を上回っているが、全体としては定員を下回っている。新たに介護老人福祉施設をはじめとした他施設が整備されたことが原因と考えられる。
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	61.9%	85.8%	定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、計画どおり整備が進んでいるものの、ケアマネジャーの当該サービスに対する理解が進んでいないこともあり、利用増に結びついていない。
小規模多機能型居宅介護(予防含む)	69.4%	73.2%	計画通り整備が進まず、見込みを下回った。
看護小規模多機能型居宅介護	56.9%	58.8%	
介護予防訪問入浴介護	75.0%	80.4%	従来から利用者が少ない中、利用率は一定に見込んでいたが、利用者数が若干見込みを下回った。
介護予防訪問リハビリテーション	73.1%	73.4%	平成27年度から平成28年度の伸び率と同程度に推移すると見込んでいたが、実際には昨年度の計画値と同水準にとどまっており、利用の伸びが鈍化傾向にある。
介護予防通所リハビリテーション	120.6%	128.6%	維持期・生活期リハビリテーションが介護保険へ移行することに伴い、要支援者を中心に利用が増加していることが原因と考えられる。
介護予防短期入所療養介護	40.5%	50.8%	従来から利用者が少ない中、利用率は一定に見込んでいたが、利用日数が若干見込みを下回った。
介護予防支援	61.0%	89.4%	想定していた以上に利用者が総合事業の介護予防ケアマネジメントへ移行していることが原因と考えられる。
介護予防認知症対応型通所介護	151.4%	156.3%	従来から利用者が少ない中、利用率は一定に見込んでいたが、利用者数が若干見込みを上回った。
介護予防認知症対応型共同生活介護	25.0%	21.3%	従来から利用者が少ない中、利用率は一定に見込んでいたが、利用者数が数人見込みを下回った。予防給付は減少したが、介護給付は増加しており、認知症対応型共同生活介護全体としてはおおむね推計どおりである。